

2025年（令和7年）2月8日（土）
15時00分～
國學院大學 院友会館 3階・大会議室

2024年（令和6年度）第4回（最終）・関東学生卓球連盟
理事会・会議資料

【開会】

葛西会長挨拶。

定足数確認。 会長1名・副会長2名・理事35名⇒構成員総数38人

現地出席 23名（予定）

リモート出席 1名（予定）

委任状出席 7名（予定）

出席者合計 31名（予定）

⇒構成員の過半数のため定足数を満たし、理事会成立

欠席 7名（予定）

オブザーバー出席 2名（予定） 理事以外の学生幹事

議事録署名人指名

【議事】

【報告事項】

- 1) 新役員紹介 下村勘太郎 (駒澤大・2年)
- 2) 令和6年度・関東学連・事業報告 p2. 4
- 3) 令和6年度・関東学連・会計報告・監査報告 p2. 別冊
- 4) 令和7年度・事業日程・決定状況中間報告 p2. 5. 6
- 5) 日学連報告事項 p7~12
- 6) 日卓協報告事項 p7
- 7) その他
 - ・ 監督会議報告

【協議事項】

- 1) 2025年度の統一球 p13. 15
- 2) 第3回理事会・継続審議事項
 - ・ 事後アンケートの結果確認 別冊
 - ・ 三英の台借用の件 (井関理事提案) → 費用面で取り下げ
- 3) 葛西会長提案事項 p13. 14. 16~20
- 4) 今後の送別会のあり方の検討 p14
- 5) その他

【閉会】

副会長挨拶

【報告事項】

2) 令和6年度・関東学連・事業報告 P4

特記事項

- ・ 所沢全日学を全て平日の異例の全国大会として開催。
- ・ 秋季リーグ戦・入替戦を、国民スポーツ大会との日程重複により一部分散開催
- ・ 海外交流事業は未実施

などはあったが、皆様のご協力により、各事業を終了できた。

3) 令和6年度・関東学連・会計報告・監査報告 別冊

登録人数は回復傾向にある。(5年ぶりの2,200人台回復)

登録料の構成を変更し、チーム登録料から個人登録料に軸足を移した。

(目的は少人数チームの救済)

結果的には、登録人数増と個人登録料値上げで、登録料収入増となった。

一般会計では約310万円の黒字。但し、事務局人件費や海外交流事業

(遠征)の未使用が大きな黒字要因。

4) 令和7年度・事業日程・決定状況中間報告 P5、6

現在、会場などが順次決定している途中段階。

全国大会の関東学連主管はない。

新人戦を遅めに開催し、参加選手数を増やしたい意向はあるが、会場の

空きの問題などで、R7は早期開催。これに伴い、申し込みなども

3月中旬からの早期となっている。

シード会議は、新人戦・3/29(土)、関東学生選手権・5/18(日)、

全日学予選・7/20(日)、を予定。

2024年(令和6年)・関東学生卓球連盟・事業日程

関東	日本	事業名	期日	会場
関		送別会	3/16(土)	専修大学・神田校舎・1号館・15階・報恩の間
関		第1回代議員会	3/17(日)PM1時～	リモート開催
関		関東学連・関東高体連合同強化事業	4/6(土)	中央大学・多摩キャンパス・第1体育館・3階・卓球場
	日	日学連・高体連・合同強化事業	4/12(金)～14(日)	群馬県桐生市・桐生ガススポーツセンター
関		関東新人戦	4/30(火)～5/1(水)	所沢市民体育館
関		春季リーグ戦		
		幹事校講習会	4/27(土)昼12時～	リモート開催
		1部リーグ	5/9(木)～11(土)	所沢市民体育館
			5/24(金)～25(土)	代々木第2体育館
		2部リーグ	5/9(木)～11(土)	所沢市民体育館
		入替戦	6/2(日)	中央大学・多摩キャンパス・第1体育館
関		インカレ・関東予選	5/27(月)	駒沢屋内球技場
関		関東学生選手権	6/24(月)、27(木)、28(金)	所沢市民体育館
	日	第93回 全日本大学総合選手権・団体の部 (旧・全日本大学対抗)	7/4(木)～7(日)	関西学連・大阪府堺市・大浜だいしんアリーナ
関		全日学・関東予選	8/5(月)～7(水)	和光市総合体育館
関		関東学生チームカップ		
		” ・Cブロック(5・6部)	8/12(月)	駒沢屋内球技場
		” ・Bブロック(3・4部)	8/12(月)～13(火)	駒沢屋内球技場
関		公認審判講習会	8/25(日)PM1時～	早稲田大学・戸山キャンパス・38号館・AV教室
関		秋季リーグ戦		
		幹事校講習会	8/31(土)昼12時～	リモート開催
		1部リーグ	9/9(月)～11(水)	港区スポーツセンター
			9/23(月・祝)～24(火)	代々木第2体育館
		2部リーグ	9/9(月)～11(水)	港区スポーツセンター
		入替戦	10/6(日)、16(水)、19(土)、 26(土)、12/14(土) ※	中央大学・多摩キャンパス・第1体育館(10/6、10/19)、 國學院大学(10/16)、東京大学(10/26)、 明治大学(12/14) ※
	日	第90回 全日本大学総合選手権・個人の部 (旧・全日本学生選手権)	10/28(月)～31(木)	所沢市民体育館
	日	日韓交流戦	11/6(水)～10(日)	韓国・済州道
	日	第20回全日本学生選抜選手権	11/22(金)～24(日)	北信越学連・新潟市東総合スポーツセンター
	日	女子・日学連・ポーランド交流戦	12/4(水)～9(月)	早稲田大学(12/5)・大正大学(12/6)
関		関東学生チームカップ		
		” ・Aブロック(1・2部)	12/12(木)～13(金)	東京武道館
関		会長杯(A・Bブロックとも)	12/21(土)～23(月)	和光市総合体育館

↑ ↑
「日」は、日学連関連事業
「関」は、関東学連関連事業

2024年度のスケジュールの特徴は、
・関東学連は、全日学を主管する

※10/6は国民スポーツ大会(旧・国体)と日程が重複しているため、国民スポーツ大会優先とし、国民スポーツ大会に出場する選手が秋季リーグ戦入替戦に出場する際は、関係するチーム間で日程・会場を調整し、後日、個別に入替戦を実施。

2025年(令和7年)・関東学生卓球連盟・事業日程

関東	日本	事業名	期日	会場
関		送別会	2/7(金)PM6:30~	國學院大・院友会館・地下1階・大ホール
	日	ワールド・ユニバーシティ・ゲームズ・国内予選	2/27(木)~28(金)	赤羽体育館(東京都北区)
関		第1回代議員会	3/15(土)PM1:00~(予定)	リモート開催
関		関東学連・関東高体連合同強化事業	4/12(土)	中央大学・多摩キャンパス・第1体育館・卓球場
	日	日学連・高体連・合同強化事業	4/11(金)~13(日)	ナショナルトレーニングセンター(or国立スポーツ科学センター)
関		関東新人戦	4/24(木)~26(土)	所沢市民体育館
関		春季リーグ戦		
		幹事校講習会	4/27(日)PM1:00~(予定)	リモート開催
	1部リーグ		5/15(木)~17(土)	所沢市民体育館
			5/25(日)~26(月)	代々木第2体育館
	2部リーグ		5/15(木)~17(土)	所沢市民体育館
		入替戦		
関		インカレ・関東予選	5/22(木)	駒沢屋内球技場
関		関東学生選手権	6/26(木)~28(土)	所沢市民体育館
	日	第94回 全日本大学総合選手権・団体の部 (旧・全日本大学対抗)	7/3(木)~6(日)	東海学連・三重県・四日市市総合体育館
	日	ワールド・ユニバーシティ・ゲームズ	7/16(水)~27(日)	ドイツ・ラインルール
関		関東学生チームカップ		
		〃 ・Cブロック(5・6部)	8/9(土)	駒沢屋内球技場
		〃 ・Bブロック(3・4部)	8/9(土)~10(日)	駒沢屋内球技場
関		関東学生チームカップ		
		〃 ・Aブロック(1・2部)	8/18(月)~19(火)	駒沢体育館
関		全日学・関東予選	8/25(月)~27(水)	所沢市民体育館
関		公認審判講習会		
関		秋季リーグ戦		
		幹事校講習会	8/30(土)PM1:00~(予定)	リモート開催
	1部リーグ		9/10(水)~12(金)	港区スポーツセンター
			9/17(水)~18(木)	代々木第2体育館
	2部リーグ		9/10(水)~12(金)	港区スポーツセンター
		入替戦	10/4(土)	駒沢体育館
	日	第91回 全日本大学総合選手権・個人の部 (旧・全日本学生選手権)	10/21(火)~24(金)	関西学連・大阪府・大浜だいしんアリーナ
	日	第21回全日本学生選抜選手権	11/21(金)~23(日)	九州学連・福岡県・北九州市立総合体育館
関		会長杯(A・Bブロックとも)		

↑ ↑
「日」は、日学連関連事業
「関」は、関東学連関連事業

2025年(令和7年度) 関東学生卓球連盟 大会等 申込受付期間

事業名	区分	申込受付期間
関東学生卓球新人選手権大会 (新人戦)	本登録	3 / 17 (月) ~ 3 / 21 (金)
	追加登録	4 / 7 (月) ~ 4 / 11 (金)
春季関東学生卓球リーグ戦 (春リーグ)	本登録	3 / 17 (月) ~ 3 / 21 (金)
	追加登録	4 / 7 (月) ~ 4 / 11 (金)
	入替戦用追加	5 / 19 (月) ~ 5 / 23 (金)
関東学生卓球選手権大会 (関東学生)	—	4 / 28 (月) ~ 5 / 2 (金)
全日本大学対抗・関東地区予選 (インカレ予選)	—	5 / 12 (月) ~ 5 / 17 (土)
全日本学生・関東地区予選 (全日学予選)	—	7 / 7 (月) ~ 7 / 11 (金)
第17回関東学生チームカップ・全ブロック	—	7 / 7 (月) ~ 7 / 11 (金)
秋季関東学生卓球リーグ戦 (秋リーグ)	本登録	7 / 21 (月) ~ 7 / 25 (金)
	追加登録	8 / 4 (月) ~ 8 / 8 (金)
	入替戦用追加	9 / 22 (月) ~ 9 / 26 (金)
第21回全日本学生選抜卓球選手権大会(外国人)	—	10 / 6 (月) ~ 10 / 10 (金)
公認審判講習会	—	/ (月) ~ / (金)
第57回会長杯争奪卓球大会	—	/ (月) ~ / (金)

区分

- 本登録 = プログラムに掲載される大会申し込み
- 追加登録 = プログラムには掲載されないが、試合出場自体は出来る申し込み
- 入替戦用追加登録 = プログラムには掲載されないが、入替戦の出場自体は出来る申し込み
(本登録・追加登録を経ても15人のベンチエントリーに空きがある少人数チームの救済用)

〒150-0041 東京都 渋谷区 神南 1-4-2 神南ハイム 402

関東学生卓球連盟

TEL 03-3496-9600 (平日は不在のため連絡はメールにてお願いします)

FAX 03-3496-9668

Email japan_kanto_sttf@yahoo.co.jp

【日学連関係】 2024年度 関東学連第4回理事会資料

・ 2025年日学連事業計画案

P8

①第20回全日本学生選抜卓球選手権大会 報告 P9

◎北信越学連主管

・11月22日(金)～24日(日) 新潟県 新潟市東総合スポーツセンター

②2024日本・ポーランド女子学生卓球交流事業 報告 P10

- ・12月4日(水)～9日(月)にて来日、5日-早稲田大学、6日-大正大学にて交流戦実施。
- ・ポーランドの女子4名来日(スタッフ4名予定→3名)
- ・ポーランドの選手は、初日かなり長いフライトで疲労気味にも関わらず、到着翌日団体戦、3日目個人戦を健闘していただいた。3日目夜のレセプション以降は交流を積極的に行い、成田での別れが感動的であった。

③FISUワールドユニバーシティゲームズ(2025/ライン・ルール) 準備状況 P11～12

・選手選考基準 ➡ JTТАと取りまとめ

日学連-10/28(月) 理事会最終承認10/29➡(火)公表

JTТА-12/14(土)理事会承認

④2025年度主催大会の使用球につ※最終的に関西一東海学連の打ち合わせで決定。

四日市インカレ	堺全日学	北九州選抜
(株)タマス	(株)VICTAS	日本卓球(株)

⑤日学連からJTТАへの派遣役員について

1) 組合せ委員会

これまで幹事長に委嘱していたが、毎年変更になるので、常任理事から選出してほしいとの委員長からの要望があり、中村秀樹副理事長 を選任した。
任期は2027年6月の評議員会まで。

2) ルール・審判委員会

引き続き、野村智宏常任理事 を継続で選任した。
任期は2027年6月の評議員会まで。

【JTТА関係】

ナショナルチーム監督について

1月19日、馬場美香常務理事強化本部長より、公式発表

男子 岸川 聖也

女子 中澤 鋭

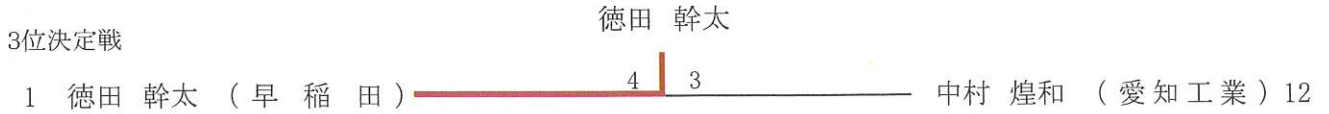
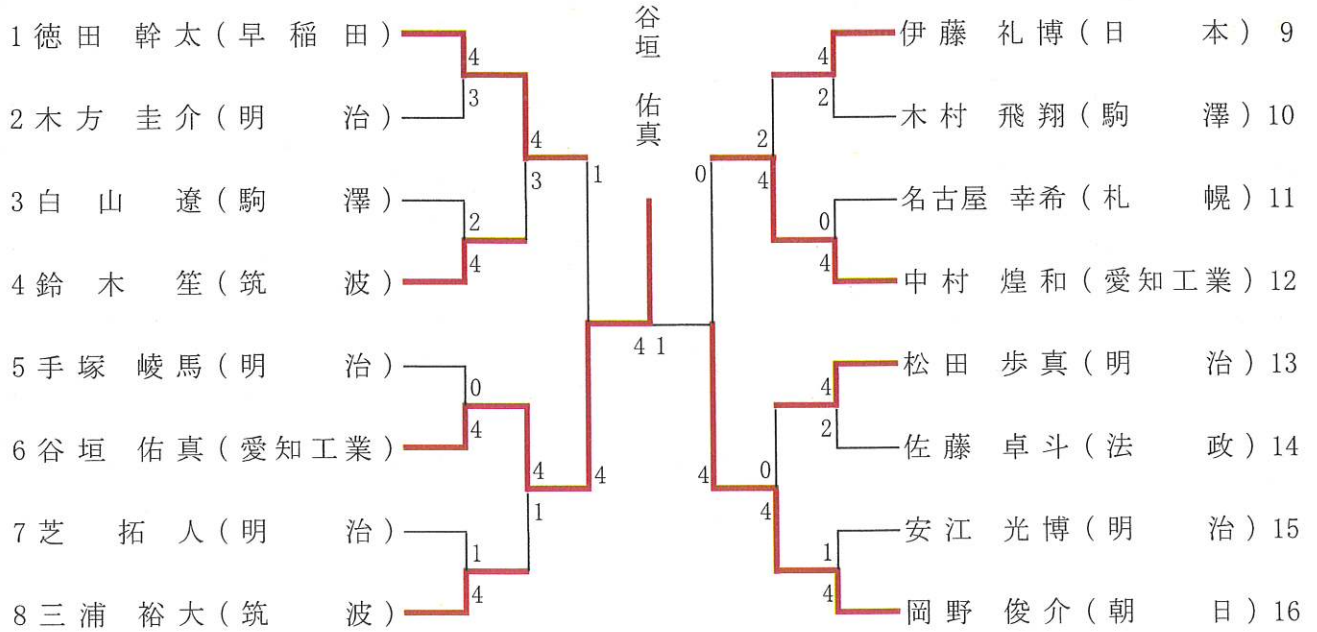
任期は、2029年3月末日まで

以上

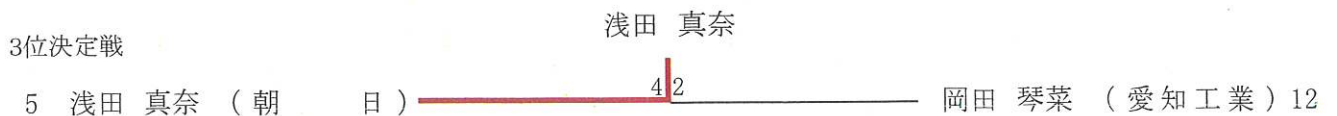
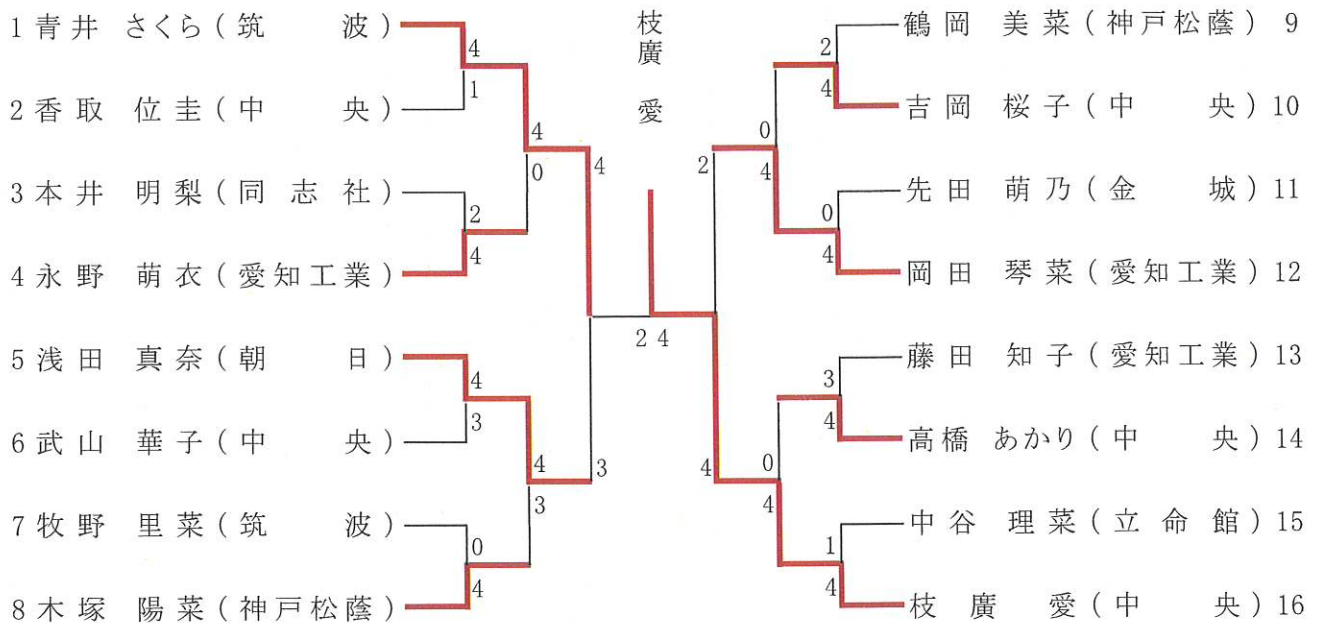
事業名		会場
2025日学連・中国上海チーム合同強化合宿	2月11日(火)18:00集合 2月12日(水)～13日(木)	京都グリーンリッチホテル 京都テルサ(合宿会場)
FISUワールドユニバーシティーズゲームズ (2025・ドイツラインルール) 代表選手選考会	2月27日(木)～28日(金) 2月26日(水) 17:00～21:00	東京都 北区赤羽体育館 選考会前日、本会場にて練習可
日学連講習会(中国学連)	3月3日(月)～5日(水)	山口県 柳井市体育館(バタフライアリーナ)
日学連講習会(北信越学連)	3月11日(火)～13日(木) 3月14日(金)～16日(日)	男子 新潟産業大学 女子 金城大学
日学連国際強化事業 (WTTツアー参加予定) ドイツユニバ対応・内定選手参加	出澤杏佳 2/17(月)～23(日) 徳田幹太 4/24(木)～27(日) 谷垣佑真 4/24(木)～27(日)	トルコ・カッパドキア イギリス・マンチェスター イギリス・マンチェスター
日本リーグ・日学連・高体連合同強化事業	4月11日(金)～13日(日)	東京都 ナショナルトレーニングセンター または 国立スポーツ科学センター
第94回 全日本大学総合卓球選手権大会 (団体の部)	7月3日(木)～6日(日)	三重県四日市市 四日市市総合体育館 使用球:楸タマス
FISUワールドユニバーシティーズゲームズ (2025・ドイツラインルール) 本戦	7月17日(木)～24日(木) (卓球競技)	ドイツ・ラインルール都市圏 (デュッセルドルフ)
2025 日本・韓国大学生卓球交流戦	8月13日(水)～17(日)	日本開催(予定)
第91回 全日本大学総合卓球選手権大会 (個人の部)	10月21日(火)～24日(金)	堺市大浜だいしんアリーナ 使用球:楸VICTAS
第21回 全日本学生選抜卓球選手権大会	11月21日(金)～23日(日)	福岡県北九州市立総合体育館 使用球:日本卓球楸
日学連復興支援講習会	中国山陰地区模索中 (大規模水害地区)	未定
ポーランド国際学生卓球大会	開催日程調査中	未定

2024年(令和6年度)・第20回・全日本学生選抜卓球選手権大会

男子・第2ステージ



女子・第2ステージ



日本・ポーランド女子学生卓球交流事業 2024 事業報告

日程：2024 年 12 月 5 日～6 日

場所：早稲田大学体育館、大正大学体育館

昨年は日本選手団がポーランドに行き卓球を通じた試合と文化交流などを行った。今回はポーランド代表の女子学生 4 名が日本を訪れ、日学連代表 4 名、関東学連代表 4 名、体育館使用協力校代表 4 名の計 16 名で団体戦や個人戦を行い、親睦を深めた。

結果としては、日本選手団の圧勝で試合を終えることができた。その他、東京デザイン専門学校での文化交流や、浅草、東京スカイツリーなど日本の名所を訪れ、非常に良い取り組みとなった。

参加選手、結果は以下の通りである。

日学連代表

浅田真奈（朝日大）、山本愛織（立命館大）、武山華子（中央大）、香取位圭（中央大）

関東学連代表

甲斐萌夏（専修大）、陣ヶ尾真子（専修大）、首藤成美（専修大）、小林りんご（青山学院大）

体育館使用協力校代表

宮脇心和子（早稲田大）、司千莉（早稲田大）、佐々木美優（大正大）、岡野結衣（大正大）

ポーランド代表

アンナ・ワグレジム、ジュリア・ファーマン、パウラ・キリシンスカ、ジュリア・ジナ

試合結果

①団体戦

日学連代表 5-0 ポーランド代表

関東学連代表 5-0 ポーランド代表

②個人戦

1 位：浅田真奈（朝日大）

2 位：小林りんご（青山学院大）

3 位：香取位圭（中央大）

3 位：山本愛織（立命館大）

以上

2025年2月2日

関係者各位

公益財団法人 日本卓球協会
強化本部長 馬場 美香
一般社団法人日本学生卓球連盟
強化委員長 鄭 泰 應

FISUワールドユニバーシティゲームズ(2025/ライン・ルール)卓球男女日本代表候補選手選考会
実施要項

標記について、2025年7月16日(水)から27日(日)の間、ドイツ/ライン・ルール都市圏のデュッセルドルフで本戦が開催されます。卓球競技本戦には JOCより男女各々5名の選手の推薦枠が示されています。

つきましては、下記に示す JOCへの優先推薦枠を満たさない選手数を、「日本代表候補選手選考会」にて選出することとしました。

本選考会の有資格者におかれましては、本要項を熟読のうえ、遺憾無きよう対応願います。

記

1、本戦概要

(1)大会名 FISUワールドユニバーシティゲームズ(2025/ライン・ルール)

(2)開催地 ドイツ・デュッセルドルフ (ライン・ルール都市圏)

(3)会 期 2025年7月16日(水)～27日(日)

(4)出場種目開催種目と出場可能選手数・ペア数は、

①男子団体、②女子団体、③男子シングルス5名、④女子シングルス5名

⑤男子ダブルス2ペア、⑥女子ダブルス2ペア、⑦混合ダブルス2ペア

※ダブルス種目の日本代表ペアは、JTTA強化本部および日学連強化委員会で決定する。

2、代表選手選考基準 (男女共通)

※JOCの選手出場条件；下記の2つの条件を満たす者

a)現役大学生または2024年1月1日以降に大学を卒業した者

b)18歳～25歳 (2000年1月1日から2007年12月31日の間に生まれた者)

※男女各々5名を代表候補選手としてJOCに推薦する。

◎2025年において日本国籍を持つ日本卓球協会の登録会員であり、日学連に登録歴があり、かつJOCの出場条件を満たす者より、日本代表候補選手を下記の (1)～(3)の順に選考し、JOCに推薦する。

(1)第90回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)シングルス優勝者を代表候補選手としてJOCに推薦する。 ※2024年10月28日～31日開催

(2)2025年全日本卓球選手権大会 (一般の部) シングルスBEST4入賞者を代表候補選手として JOCに推薦する。 ※2025年1月21日～26日開催

(3)以上で代表候補選手が5名に満たなかった場合は『日本代表選手選考会』を実施し、JOCに推薦する選手を選考する。 → **本要項 ※3以下参照**

3、『日本代表候補選手選考会』参加基準

- (1)第90回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）、シングルスBEST8入賞者
- (2)第89回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）、シングルス優勝者
- (3)第20回全日本学生選抜卓球選手権大会、シングルスBEST8入賞者
- (4)第19回全日本学生選抜卓球選手権大会、シングルス優勝者
- (5)2025年2月1日が含まれる週発表の世界ランキング 100位以内の者
- (6)2025年度大学進学予定者のうち、全国高校総体シングルスBEST4入賞者
- (7)その他日学連強化委員会が推薦する者（2、のJOCの選手出場条件を満たす既卒業者も含む）

4、日本代表候補選手選考会概要

- (1)開催場所 東京都・北区赤羽体育館 〒115-0042 東京都北区志茂3-46-16
- (2)開催日 2025年2月27日(木)～28日(金) ※26日(水)16:30～20:00まで練習可能
- (3)選考方法 参加選手総当たり戦を行い、上位から不足分を選考する。
- (4)参加料 5,000円/1名
2月21日までに下記口座まで振込み願います。
みずほ銀行 渋谷支店（210）
普通口座 3152413
一般社団法人 日本学生卓球連盟
- (5)注意事項
 - ・現地までの交通費、宿泊費は自己負担とします。
 - ・体育館内、体育館の敷地まわり、及び喫煙室は全面禁煙とします。
⇒ 体育館の外で喫煙すると、近隣住民からの苦情で使用禁止となります。
 - ・本選考会参加者は候補選手に選出された場合、本戦を棄権してはならない。
⇒ 病気・怪我等、の事情があった場合を除く。
※日本代表候補選手が故障等で参加不能となった場合、その代替選手は、JTТА強化本部および日学連強化委員会で決定する。

以上

【協議事項】

1) 2025年度の統一球 P15

考え方

- ・ 全国大会は日学連にて決定済み
- ・ インカレ直前の関東学生選手権は、インカレと同じタマスとする
- ・ リーグ戦において、1・2部と3部以下のボールが違う場合、
従来＝試合形式（5点制・7点制）は、「決定戦はその所属部の方式。入替戦は上位部の方式」。これをボールに適用するとAMとPMでボールが違う事態となる。これが問題視される。

提案＝「ボールは、決定戦も入替戦も上位部に合わせる」と事前決定しておく。
各部優勝チームは入替戦までの数週間、上位部のボールにて練習すれば良い。

これで、1・2部と3部以下のボールが違う場合でも問題はないと想定。

春リーグ1・2部をタマスにすることで関東学生選手権と併せて主要2大会と言える。

- ・ 下部校の経済負担も考慮し、出来るだけニッタクボールで統一したい。

3) 葛西会長提案事項

①指導者資格取得の件 P16～18

日本卓球協会は、2028年度開催の低年齢選手全国大会出場チームの団体戦メンバー（監督・コーチ・選手）に指導者資格取得者を必須とする旨の通達を2025年度に発表しました。基礎的な資格であるスタートコーチは、対面講習会の1日で取得でき、不合格ありません。但し、オンライン講習を受講する必要があります。2028年度以降は順次、その範囲が広げることになっています。高校・大学・実業団も例外ではありません。なお、公認審判員取得も必須になります。

日本学生卓球連盟も日本卓球協会の傘下であり、当然その流れに沿うので、いずれは関東学連の監督・コーチも指導者資格取得が必須となります。そのため、来年度以降、積極的に1部・2部・3部の監督は指導者資格を積極的に取得することをお勧めします。

②公認審判員取得の件

公認審判員の取得を進める必要があります。基本的に、関東リーグ戦の1・2部を除き、ほぼ全大会で敗者審判制が導入されています。従って、全大学選手が公認審判員の資格を取得する必要があります。ちなみに、来年度以降、受講人数の関係もあり1年生のみ全員の受講必須とすることを提案します。

実施時期：4月下旬～5月中旬を予定しています。

実施場所：早稲田大学の教室（500人収容）を予定しています。

依頼先：早稲田大学卓球部、川島いづみ部長

③100周年記念事業実行委員会の設置について

2年後の100周年に向けては皆様に周知し、準備する必要があるものと思います。その意味では、多少時間があるので

準備委員会を立ち上げてよいかと思っております。

- ①記念誌の作成
- ②記念パーティーの開催
- ③記念品の作成
- ④その他

④広報部の設置について

本連盟の広報活動の充実と発展を検討すべきであり、新たに広報部の設置を提案したい。
その理由として、オンラインあるいは広報誌を含め年間を通した広報活動自体を発展して欲しい。

⑤学連組織の充実と発展

学連の組織は学生の自主性を尊重すべきです。
1・2年生の学連委員が少なく、OB・OGのサポートが必要になっている。連盟役員の応援も当然必要ですが、運営の中心は学生にあるものと思いますので、来年度の1・2年生の学連委員の積極的な参加を監督会でも促すべきかと思えます。

⑥連盟役員の大会運営への協力依頼の件

1・2年生の学連委員が少ないことから、現役員が大会での運営に関わって頂きたい。

⑦監督会議における諸情報の提供について

理事会での審議に関わる事項であるが、監督会議において、①指導者資格取得の必要性、②公認審判資格取得の必要性を訴えたい。当面、指導者資格は任意、公認審判員の資格は将来的に必要となる方向性を示唆する。

⑧コンプライアンスとインテグリティ講習の件 P19

⑨セカンドキャリアおよび就活セミナー講習の件 P20

4) 今後の送別会のあり方の検討

昨年3月開催・卒業生4名参加

今回2月開催・卒業生6名参加（内3名は特別賞受賞者）

アンケートを基に、2月に早めて開催したが、卒業生の参加に大差なし。

- ・ 日時の決定が遅い（1か月を切ってからの日時決定）
- ・ 平日開催の良し悪しの検討
- ・ 「送別会だから」ということで卒業生が参加しないチームの在校生の自粛

→ 時期などの固定化（全日本選手権翌週の土曜、など）

送別会から、納会（年度切り替え会）への主旨変えなどの検討

2025年(令和7年度)・関東学連・統一球の振り分け(案)

	大会No	ニッタク	タマス	Victas	日程(予定)
関東新人戦	1	●			4/24(木)~26(土)
春リーグ 1・2部	2		●		5/15(木)~17(土)、25(日)~26(月)
3部以下	3	●			主に5月
インカレ予選	4	●			5/22(木)
関東学生選手権	5		●		6/26(木)~28(土)
インカレ本戦	6		●		7/ 3(木)~ 6(日)
チームカップ B・Cブロック	7	●			8/ 9(土)~10(日)
チームカップ Aブロック	8	●			8/18(月)~19(火)
全日学予選	9	●			8/25(月)~27(水)
秋リーグ 1・2部	10	●			9/10(水)~12(金)、17(水)~18(木)
3部以下	11	●			主に9月
全日学本戦	12			●	10/21(火)~24(金)
全日学選抜	13	●			11/21(金)~23(日)
会長杯	14	●			

2019年までは、インカレ関東予選、全日学関東予選は、それぞれインカレ本戦、全日学本戦と同じものを採用する、という関東学連の方針でしたが、2020年からはこの方針を変更し、本戦に関わらず予選の使用球を決定します。

使用ボール

- ニッタクボール 3スター・プレミアム・クリーン (従来品のプラ3スター・プレミアムと打球感はほぼ同じ。価格も同じ)
- タマスボール 3スター R40+ボール (2020年4月発売)
- Victasボール VP40+3スターボール (Victas名義商品・実質はTSPのCP40+3スターと同じ)

公認卓球指導者資格

(公財) 日本卓球協会指導者養成委員会

公認卓球指導者資格をお持ちでない方

資格取得をお薦めします

本来スポーツは楽しいものですが、スポーツの現場では事故やケガ、また近年は様々な社会的問題が発生しています。適切な判断ができるようになるには多くの知識が必要です。正しい指導法を学び資格を取得することで安心安全な指導を行いましょう。



公認卓球指導者資格をお持ちの方

日本卓球協会ホームページ、マイページ登録はお済みですか。

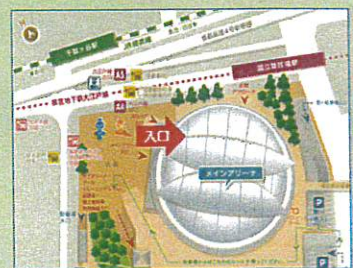
- ・ 講習会、大会の動画や各種情報を見ることができます。
- ・ ホープスナショナルチームでの選手育成について
- ・ 世界に通用する技術について
- ・ 医科学コラム



- ・ 全日本卓球選手権大会を研修として無料観戦できます

本大会会場にて公認卓球指導者資格取得
相談コーナーを開設しています

期間：2025年1月21日～23日
場所：2階一般入口 受付付近



公認卓球指導者資格について

公認卓球指導者資格をお持ちでない方

資格取得をお勧めします

本来スポーツは楽しいものですが、スポーツの現場では事故やケガ、また近年は様々な社会的問題が発生しています。

適切な判断ができるようになるには多くの知識が必要です。
正しい指導法を学び資格を取得することで安心安全な指導を行いましょう。



勝りをめざす前に、大切なものがあります。

指導者編、選手編、教員、各都道府県卓球協会が実施。講習会、大会での指導者講習会、指導者講習会での指導者講習会。



いろいろな環境の変化の中、
資格保持者の指導者が
求められる時代になっています

- ・地域型総合スポーツクラブ
- ・中学校部活動の地域移行化
- ・少子高齢化によるシルバー層の需要

2025年度 スタートコーチ・コーチ1 資格取得について

『スタートコーチ』

- ・受講料(共通科目、専門科目) 合計 14,620円 ※教本代等含む
- ・登録料(4年間) 13,000円 (初回は別途 初期登録料3,300円)
- ・開催時期: 開催地によって異なる。

『コーチ I』

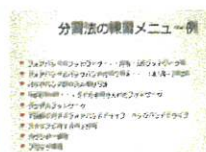
- ・受講料(教本代含む)(共通科目: 18,700円、専門科目: 18,480円)
共通科目: N H K 通信講習受講、専門科目: 各都道府県卓球協会(連盟)が実施
- ・登録料(4年間) 15,000円 (初回は別途 初期登録料3,300円)
- ・合格の次年度10月に資格取得

※個人申込み受付期間については、開催地で異なります。尚、『コーチ2、3』については、都道府県協会(連盟)の推薦が必要です。

公認卓球指導者資格をお持ちの方

日本卓球協会ホームページ、マイページ登録はお済ですか。

- ・講習会、大会の動画や各種情報を見ることができます。
ホープスナショナルチームでの選手育成について
世界に通用する技術について
医科学コラム



- ・全日本卓球選手権大会を研修として無料観戦できます

卓球公認指導者資格について



日本卓球協会
登録人口(2023年度)
299,285名

日本スポーツ協会
公認卓球指導者資格
登録数
3,445名
(2024.12月現在)

小学生：10,639名
中学生：142,049名
高体連：65,301名
日学連：6,691名
日本リーグ：169名
教職員：713名
一般：54,897名
役職者：18,826名

コーチ4：83名
コーチ3：795名
コーチ2：1095名
コーチ1：1352名
スタートコーチ：120名

スタートコーチ資格について

養成目的：地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等において、上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する方を養成する。

役割：発育発達期の子供たちに対し、競技者育成プログラムに則り、さまざまな運動経験と遊びを通じた身体づくりと動きづくりを主眼においた指導にあたる。

受講科目：スタートコーチ共通科目 (15h)
※内3.5hは1日の集合講習会受講・試験無
スタートコーチ専門科目 (4h) 集合講習会受講

卓球競技も「スタートコーチ資格制度」が始まり
2024年度は28府県で608名が取得されました

4/29熊本



8/18福島



9/29
福井


8/31新潟



6/30京都



ブロック	府県名	資格取得数	開催日
東北	青森県	31	9月21日
	岩手県	43	9月29日
	宮城県	37	9月14日
	福島県	48	8月18日
関東	茨城県	14	10月20日
	栃木県	5	10月13日
	埼玉県	28	10月14日
北信越	千葉県	21	9月1日
	新潟県	20	8月31日
	長野県	23	7月27日
	富山県	20	8月18日
	福井県	22	9月29日
	岐阜県	21	9月29日
	静岡県	11	11月3日
東海	愛知県	26	10月20日
	三重県	16	9月23日
	滋賀県	9	7月6日
近畿	京都府	16	6月30日
	兵庫県	9	8月4日
	奈良県	30	10月12日
中国	島根県	21	10月14日
四国	徳島県	22	9月29日
	愛媛県	12	9月1日
九州	福岡県	24	6月23日
	佐賀県	9	7月28日
	長崎県	21	9月14日
	熊本県	55	4月29日
	沖縄県	15	10月12日



お問い合わせは
(公財) 日本卓球協会 指導者養成委員会

2024年11月16日

関東学生卓球連盟理事
各位

関東学生卓球連盟会長
葛西 順一

8. コンプライアンスとインテグリティに関する講習の件

最近、日本国内の全ての会社組織に将来的に起こりうる問題として、会社内の倫理問題がとりあげられ、当たり前のようにその種の講演会が開催されています。会社のみならず、日本スポーツ協会傘下のいくつかのNFが、金銭問題・選手選考問題・異性へのハラスメント問題・指導者の選手に対するパワハラ問題が続けざまにおこり、日本スポーツ協会も緊急の課題としてとりあげて、各NFに厳格な指示を出しています。その大きな流れは正しい方向性であって、止めることはできません。止めようとする輩がいるならば、すぐさま排斥されることになるでしょう。その悪しき抵抗勢力は排斥されるどころか、スポーツ界の歴史から抹殺されています。

さて、コンプライアンスとインテグリティに関する講習会を開催する必要性があることを述べさせて頂きました。日本卓球協会の場合、主だった事例はありませんが、関東学生卓球連盟の場合、個々に問題を起こした例はいくつかあります。例えば、某大手銀行の関連する会社の体育館のトイレでタバコの吸い殻を捨てて、その体育館を以後一切借用できなくなったこと、代々木第二体育館においてタバコの吸い殻をトイレに捨てていたことがわかり、その後一切借用できなくなったこと、また、最近もそのようなことがあったことを側聞しております。このような不祥事が起こったら、該当大学に対して厳しい処分を下すことを決断する前に、該当大学のみならず全ての大学の部長・監督・コーチがそのようなコンプライアンスおよびインテグリティに関する講習会を受講すべきであり、その流れとして、監督・コーチが選手に対してしっかりと指導をする、結果として恥ずべき行為に対しては厳しい処分もやむなしとい受け止めるような体制にする必要があるかと思えます。

まず、正すべきは部長・監督・コーチの姿勢であり、その認識の深さにあります。

その意味合いにおいて、同種の講習会を可能な限り速やかに開催すべきで、講習会の受講はマストにすべきです。

2024年11月16日

関東学生卓球連盟理事
各位

関東学生卓球連盟会長
葛西 順一

9. セカンドキャリアーおよび就活セミナー講習の件

関東学生卓球連盟の学生選手たちは、非常に高い技術レベルにあり、特に1部、2部、3部の技術レベルは、30年前と相対的にかなり高いことを窺い知ることができる。その高い技術をもってしても、多くの卓球選手は卓球のプロ選手としての活躍は見込めず、かつての実業団チームに所属し、会社員としての立場を保ちつつ、会社を代表するスポーツ選手としてのステータスをもつ選手の数は極めて少なくなっている。

このことから、関東学連に所属する大多数の選手は、大学に合格した直後から、高くとも目標を学生日本一というレベルに置きがちであり、しかも卒業後にはしっかりした会社に就職することをまず第一に考えている傾向がよみとれる。この現象自体は悪いことではないが、このような状況を打破するために、高いレベル（世界や日本のナンバー1）を目指す方策を構築する必要がある。高いレベルを方向付けるために、海外遠征や強化練習会や他学連やTリーグあるいは実業団チームとの交流が必要であり、その面における精神的・技術的・財政的支援が必要である。その一方で、学生に対しては、卓球以外の社会性を磨く機会を各大学が創り上げる手立てが必要であり、その一つとして、指導者資格の取得があげられよう。社会人との交流や中高生への指導を通して、一般的な社会性を磨き、子供たちに夢を与える徳の要素を磨く、社会貢献事業の一つであり、一大学としても卓球部が社会貢献をすることで、大きなメリットももつ、一挙三徳ではないだろうか。

もう一つ考えられることは、関東学連の広い人脈を通して、就活支援をすべきではないかという点である。一大学の領域を超えて、全ての大学の幅広い社会人の強みを生かして、就活セミナーを展開できないかという提案である。

以上、宜しくご検討を賜れば幸いです。